

留学体験記

3年1組29番 高橋明怜

1. 序論

私は2023年9月23日から2024年7月1日の間、フランスに留学していた。留学は、自分の成長にとって非常に大きな経験であった。特にフランスのアルザス地方は、その独自の文化や豊かな歴史を持つ地域であり、留学を通じてさまざまな視点から新しい学びを得ることができた。本体験記では、アルザス地方の特徴や留学中に感じた文化の違い、現地の人々との交流を通じて成長した点について説明する。

2. 本論

アルザス地方は、フランスの北東部に位置し、ドイツとの国境に接している。アルザス地方はドイツの近くで過去に100年に渡るフランスとドイツによる争奪戦が行われていた地域である。そのため、アルザス地方ではフランスとドイツの両国の文化が入り混じっている。フランス語とドイツ語の両方が影響を受けたアルザス語という方言が話されている点も興味深く、建築や料理にもその影響が見られた。

アルザス地方で特に有名なのは、絵本のような美しい街並みである（図1）。ストラスブールやコルマルなど、石畳の通りとカラフルな木組みの家々が特徴的な町が多く、世界遺産にも登録されている。ストラスブール大聖堂は、ゴシック建築の代表作として知られており、壮大なスケールと繊細な彫刻が印象的だった。



図1 アルザスの街並み

アルザス地方での生活は、日常の中に歴史や文化が息づいており、毎日が新しい発見の連続だった。特に印象的だったのは、クリスマスシーズンだ。アルザスはフランスでもクリスマスマーケットが有名で、町全体がイルミネーションで彩られ、手作りの工芸品や伝統的な食べ物が並べられていた。現地の人々と一緒にホットワインを飲みながら、クリスマス気分を満喫したことは、忘れられない思い出だ。またホストファミリーとはよく外への外出をしていた。例えばハイキングやキノコ刈りなどアウトドアなことをした（図2）。自分の想像していたフランスは都市が多いイメージがあったが実際、アルザスは奈良と似たような自然豊かな場所であった。



図2 アルザスで行ったキノコ刈り、ハイキング

また、アルザス料理も楽しみの一つであった。タルトフランベやシュークルートといった伝統料理を味わい、フランスとドイツの文化が融合した食の豊かさを実感した。

フランス留学の中で一番印象に残っている場所がユーロパークである(図3)。ユーロパークは、ドイツ南部のルストという小さな町にある巨大なテーマパークで、ヨーロッパ各国の文化や風景を一度に楽しめる場所で、到着した瞬間からその独特な雰囲気に包まれた。入口を抜けると、まず目に飛び込んできたのは異国情緒あふれる街並み。フランス、スペイン、スイス、まるでヨーロッパ中を旅しているかのように、それぞれのエリアが国ごとに細かくデザインされていた。初めに歩いたのはイタリアエリアで、そこには本物のイタリアの広場のような雰囲気が広がっており、石畳の道を歩きながらジェラートを食べた時、まるでローマを訪れているかのような感覚になれた。日本の遊園地では、こうした国ごとのテーマを細かく再現する場所はあまり見たことがなかったので、その本格さに驚いた。

その後、フランスエリアにある「Silver Star」という巨大なジェットコースターに挑戦した。これが本当に凄く地上から眺めただけでも、その高さに圧倒されたが、実際に乗ると風を切りながらの急降下やスピード感が凄まじく、心臓が飛び出るかと思った。それでも終わった後にはもう一度乗りたくなるような爽快感があり、日本の遊園地にもスリル満点のジェットコースターは多いが、ユーロパークのものはスケールが違い、まさに「ヨーロッパ最大級」を体感した瞬間であった。

お昼はドイツエリアで伝統的なソーセージとプレッツェルを楽しんだ。ソーセージはジューシーで香ばしくとても良かった。これも日本の遊園地ではなかなか味わえない、現地ならではの体験だったと思った。各国エリアごとに本場の料理が楽しめる点は、ユーロパークならではの魅力であった。日本の遊園地だと、キャラクターモチーフのフードや軽食が中心で、こうした異国文化を食で感じることは少ないので、すごく新鮮だった。

ユーロパークでの一日は、まさにヨーロッパ全体を駆け巡ったかのような感覚だった。文化、アトラクション、食事、すべてが一つのテーマパークの中で楽しめる場所。まさに「ヨーロッパが一堂に会する場所」という表現がぴったりで、日本では味わえないスケールの大きさや文化の多様さを体感できた。次にヨーロッパを訪れる際には、もう一度この場所に戻って、さらに新しい発見をしたいと思っている。

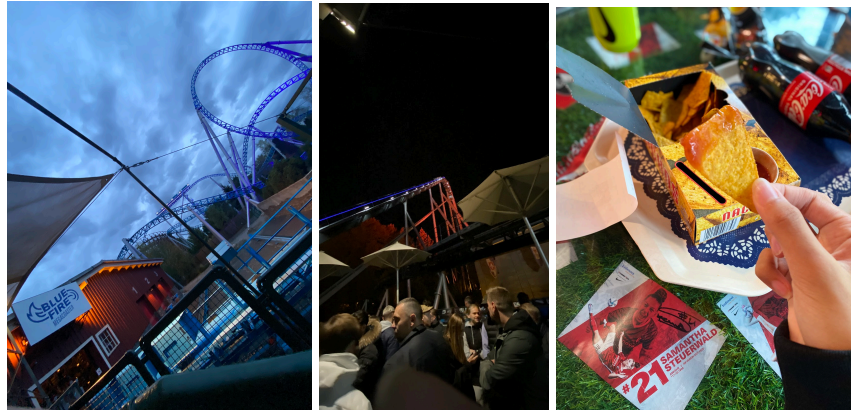


図3 ユーロパーク

留学中に最も強く感じたのは、フランスと日本の文化の違いだ。例えば、フランスでは個人主義が尊重されており、自分の意見をはっきりと表明することが求められる。授業でも、学生同士でディスカッションを行う機会が多く、自分の考えをしっかりと主張することが重要視された。これに対して、日本の教育では協調性や他者との調和が重視されることが多いため、初めは戸惑うこともあったが、この違いを受け入れることで、異なる価値観を理解し、柔軟な思考力を養うことができた。

また、フランスでは時間の使い方に対する考え方も異なっていた。フランス人は仕事や学業とプライベートの時間をしっかりと区別し、余暇の時間を大切にしている。この点も、日本の文化とは対照的であり、私自身の時間管理の考え方にも影響を与えた。

留学中は、現地の学生やホストファミリー、教授との交流を通じて、さまざまな価値観や生き方に触れることができた。特に印象的だったのは、フランス人の「考える力」と「行動する力」のバランスだ。フランスでは、自分の意見を形成するために深く考え、行動に移すことが求められる。例えば、社会問題や政治に対する意識が非常に高く、学生同士の会話でも日常的にこれらの話題が取り上げられていた。このような環境に身を置くことで、私も社会的な問題に対する意識が高まり、積極的に意見を表明する姿勢が身についた。

また、アルザス地方の人々は、フランスの中でも特に温かく親切で、地域コミュニティを大切にしている印象を受けた。彼らのオープンな態度のおかげで、言語や文化の壁を乗り越えて、深い交流ができたことは、非常に貴重な経験となった。それに加えてフランスにはあらゆる人種がいることも今回の留学を通して知った。学校では黒人、アラブ系、白人、黄色人種、あらゆる地域、国の人と関わるが多かった。そこで私は実際どれくらいの人種がフランスにいるのかを調べた。フランスの国立経済統計研究所による調査によって2023年、アジア生まれの100万人の移民がフランスに住んでいたという結果やアフリカ生まれの350万人の移民がフランスに住んでいたという結果が出ていた。

3. 結論

アルザス地方での留学経験は、文化の違いを理解し、多様な視点を持つことの重要性を実感させてくれた。また、自分自身の考え方や価値観を見直し、新しい視点から物事を捉える力を養うことができた。留学は単に語学や学問のスキルを磨くだけでなく、人間的な成長にも大きく寄与するものだ。この経験を通じて得た学びを、今後の人生においても活かしていきたいと考えている。

このようにフランスは豊かな文化と歴史を持つ国であり、その地での生活や学びは、私たちに新しい発見や挑戦を与えてくれる。そして、何よりも重要なのは、その過程で築かれる人間関係、特に現地のできる友人たちだ。

留学を通じてできる友達は、ただ一緒に遊んだり、学んだりする仲間に留まらない。異なるバックグラウンドや価値観を持つ人々と交流することで、異文化への理解が深まり、自分

の常識や固定観念が揺さぶられる。新しい視点を得ることで、物事を多角的に考えられるようになり、世界がぐっと広がる感覚を得ることができる。さらに、こうした友人との関係は、帰国後も続くことが多く、国境を越えた絆として自分の人生を豊かに彩るものとなる。

友達とのやり取りを通じて、語学の上達もちろんあるが、それ以上に、異なる文化を理解し、尊重する姿勢が自然に身についた。これは、単なる教科書の知識では得られない、実際に現地で生活し、人と接することでしか学べない貴重な経験だ。たとえば、フランスの友人からその国の歴史や文化について直接話を聞いたり、地元の行事に参加することで、書物では得られないリアルな視点を持つことができる。こうした体験は、深い学びとなり、また人間的な成長にもつながるのである。

さらに、国際的な友人を持つことは、個人的な楽しみや学びだけでなく、世界にとっても大きな意味を持つ。異なる文化や国籍の人々と友情を築くことで、私たちはお互いに理解し合い、協力し合うことができるようになり、現代社会では、情報や技術が瞬時に世界中を飛び交い、国境を越えたつながりがますます重要になっている。そうした中で、異文化理解や相互尊重の精神は、平和な世界を築くために欠かせない要素だ。

友達との関係を通じて、私たちは他者を理解し、尊重する方法を学ぶ。そして、その理解は、誤解や対立を減らし、協力を促進する。たとえば、留学中に知り合った友人と意見の違いを乗り越え、協力し合う経験は、将来的に国際的な協力や平和構築にもつながる可能性があり、小さな個人的な交流が、国際的な規模での平和や理解の促進につながることを考えると、留学で得られる友人関係の意義は非常に大きいと言えるだろう。

このように、フランス留学で友達を作ることは、人生においてかけがえのない財産となるだけでなく、世界平和にも寄与する大切な一歩となる。異文化の中で築かれた友情は、私たちに新しい視点を与え、自分自身の成長に貢献すると同時に、世界全体がより平和で調和の取れた場所になるための礎石ともなり得るのだ。この経験を通じて得たものは、将来にわたって私たちの人生を豊かにし、世界をより良い場所にするための力となるだろう。